

アオバトのくらし



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

撮影：重永明生

ちょっと詳しく解説

アオバト *Treron sieboldii*

- ◆ 日本、台湾、中国南東部からベトナムにかけて生息しているハトのなかまです。
- ◆ 日本には亜種アオバトが生息し、国後島と北海道、本州、四国、九州で繁殖が確認されています。
- ◆ 冬になると、北の地方のものは暖かい地方へ移動します。
- ◆ 神奈川県では、一年を通してみることができます。



撮影：重永明生

(左：メス、右：オス)

海水を飲むアオバト

- ◆ アオバトの海水を飲む行動（海水吸飲）は、北海道から九州まで、日本各地で観察されています。
- ◆ 海水だけではなく、山の中で温泉水を飲むことも確認されています。
- ◆ 海水（温泉水）吸飲は春から秋にかけて観察されていますが、冬の間は記録はありません。



撮影：重永明生

海水を飲むアオバト

- ◆なぜ海水や温泉水を飲むのか、くわしいことは分かっていません。
- ◆食べ物と関係している可能性が高いと考えられていますが、繁殖と関係しているという説もあります。



ちょっと詳しく解説

海水を飲むアオバト

- ◆神奈川県大磯町の照ヶ崎海岸では、毎年4月下旬から5月初旬になるとアオバトが海水を飲みに飛来し始めます。
- ◆飛来は10月下旬から11月上旬まで続きます。
- ◆照ヶ崎海岸は、「大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地」として神奈川県の天然記念物に指定されています。



照ヶ崎海岸

海水を飲むアオバト

- ◆早い時では、日の出前から飛来が始まりますが、天気の悪い日は飛来しないこともあるようです。
- ◆数羽、数十羽の群れで、時として500羽以上もの大きな群を作るときもあります。
- ◆海が荒れると、波にのまれるアオバトも少なくありません。



撮影：重永明生

夏のアオバトのくらし

- ◆アオバトの子育ての時期は春から夏にかけてです
- ◆繁殖はつがいごとに分かれて行います。
- ◆神奈川県では、丹沢山地で繁殖が確認されています。
- ◆ふつう卵を2個うみます。
- ◆主な食べ物はサクラやクワの実などの水分を多く含む液果です。
- ◆日本各地で海水や温泉水の吸飲が報告されています。

冬のアオバトのくらし

- ◆ 秋から冬にかけて、平地から低い山の林などで見かけます。
- ◆ 平地の公園でも見かけることがあります。
- ◆ 主な食べ物はシイやカシの実（ドングリ）です。
- ◆ 池や川の水（淡水）の吸飲が報告されています。



アラカシの実を食べるアオバト（オス）



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

この資料は、2019年度特別展「アオバトのふしぎー森のハト、海へ行くー」の展示資料をまとめたものです。

協力：こまたん

※「こまたん」は、野鳥を中心に花や昆虫などを愛でる平塚市・大磯町をフィールドに持つバードウォッチングのグループです。

写真：重永 明生

※無断転載・複製を禁じます。